

どんどん穫れるピーマンづくり

栽培のポイント

- 実が付き始めたら肥料を切らさない！
ピーマンは樹が生長しながら花・実をつけます。
窒素、リン酸、カリウムのいずれも不足しないように、定期的に追肥を行いましょう。
- 尻ぐされ対策のカルシウム補給！
ピーマンの尻が変色してきたら尻ぐされの兆候。原因は「水分とカルシウム不足」。葉面からリーフアップCaの500倍液で養分補給をさせながら、しっかりとカン水してください。
- 整枝で実を太らせる管理を！
整枝をすると実が大きくなりやすいです。下の図を参考に整枝してください。



施肥提案（1a＝30坪）

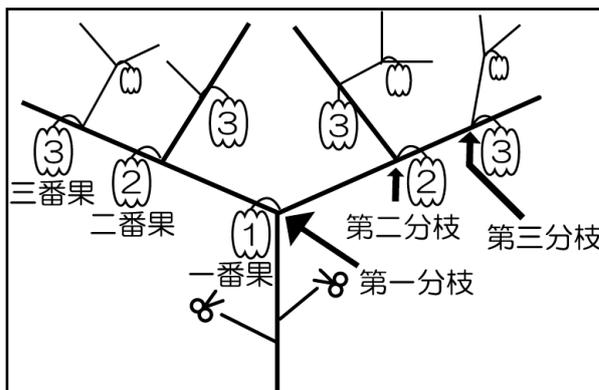
資材名	元肥	追肥① 収穫始めごろ	追肥② ※最盛期(10～14日ごと)
MリンPKマグ	5 kg	2～3 kg	2～3 kg
バクヤーゼK	40 kg	—	—
NK化成	4 kg	2～3 kg	2～3 kg

※栽培条件や天候によって施肥量が変わりますので
状況を見ながら量を調節してください。

尻ぐされの兆候がある場合、
リーフアップCa 500倍液を20～30L 葉面散布

ピーマンの整枝

第一分枝、第二分枝の中で、太い分枝を主枝として誘引します。ここから出る側枝は3～4果、内側のものは2～3果で剪定し、収穫後に一節を残して切り取ります。



ピーマンの尻ぐされ